

2021年3月24日

東邦大学医療センター大森病院への寄付に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、罹患された方々、そのご家族、関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の対応のため、最前線でご尽力されておられる医療従事者の皆様に敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、その最前線で対応を続けられ、さらに当社の感染対策製品の共同開発にもご協力くださった東邦大学医療センター大森病院様に対して、この度当社は下記内容の寄付を行いました。寄付に当たっては、3月19日当社社長村川勉が、同病院を訪問し瓜田院長へ目録をお渡しいたしました。その際、関係者の先生方にもご臨席を賜りました。

記

<寄付させていただいた製品・機器>

- ・気管挿管・抜管用陰圧フード「DANTECT for Ti(Tracheal intubation)」 4式
- ・検体採取用陰圧ブース「LAMIKOACH Np(Negative pressure)」 2式



左:当社社長 村川、
右:東邦大学医療センター大森病院 瓜田病院長



左から、東邦大学医学部微生物・感染症学講座 石井教授、
当社社長 村川、東邦大学医療センター大森病院 瓜田病院長、
同病院感染管理部副部長 宮崎医師、
同病院先端健康解析センター部長 松崎医師

なお、当社は、新型コロナウイルス感染症から日本の医療機関を守るため、国内・海外の生産拠点において、使い捨て式防じんマスク「ハイラック 350 型」(米国 NIOSH 規格 N95・国家検定規格 DS2 合格品)の生産をフル稼働で続けております。また、東邦大学様をはじめとする医療現場の皆様からのご意見・ご要望を受けて、新たな感染対策製品の開発・普及にも努めております。

今後も、医療従事者の方々が安全かつ安心して業務にあたっただけのように、供給責任を果たすとともに、「真に役立つ」製品の開発を続けてまいります。

以上